

# 恵庭ふるさと公園再整備基本計画

平成30年6月

恵庭市

## 基本計画策定にあたり

恵庭中心市街地に位置する「恵庭ふるさと公園」は、地区公園として災害時の避難空間の形成や防災性の向上、レクリエーションや自然とのふれあいの場の創出、潤いのある都市景観の形成など多様な機能や役割を担っており、市民に長く親しまれてきました。

一方、1992年（平成4年）の供用開始から25年が経過し、施設が老朽化したことに加え、樹木が大きく成長したことによる数々の問題が指摘され、さらに周辺環境や社会状況の変化により、地元住民や利用者が公園に求める機能や内容も大きく変化してきました。

今後は、開設当初から年月を経たことによる落ち着いた公園の良さを活かしつつ、さらに利用者がレクリエーションやみどりとのふれあいの場、様々な市民活動の場として新たな公園像を検討することが必要となっています。

また、関連計画として恵庭市では、平成29年に「恵庭市公共施設花づくり基本指針整備・運営計画」を策定し、本公園も同指針における花の観光拠点の1つとして位置付けられました。

さらには、北海道が進める札幌恵庭自転車道の延伸計画により、今後は今以上に多様な機能や役割が求められます。

このような背景を踏まえ、地域の緑のシンボルである恵庭ふるさと公園の魅力を再認識し、安全で快適な公園環境整備と改善、また豊かで潤いのある生活と都市環境の形成を図ることを目的として、市民参加によるワークショップで再整備に向けた基本方針や、今後の管理・運営について話し合いを進め、恵庭ふるさと公園の基本計画を策定しました。

### 恵庭ふるさと公園基本計画の策定フロー

#### 市民参加によるワークショップの開催

##### 第1回WS

- ・ 事業概要、WS目的の把握
- ・ 現状の問題点や課題の共有  
（現地フィールドワーク）

##### 第2回WS

- ・ 再整備、利活用におけるキーワードの共有
- ・ ゾーン毎のイメージの共有

##### 第3回WS

- ・ 再整備、利活用における具体内容の掘下げ
- ・ ゾーン毎の規模、導入施設イメージの共有

##### 第4回WS

- ・ 再整備における基本方針と計画案の共有
- ・ 市民協働型の管理・運営について検討

#### 恵庭ふるさと公園基本計画の策定

- ・ 基本方針の設定、整備方針の設定
- ・ 利活用方法の整理
- ・ 市民協働による管理・運営の検討

---

# 目 次

1	現況把握	1
1-1	恵庭ふるさと公園の概要	1
1-1-1	恵庭ふるさと公園の沿革	1
1-1-2	社会的特性	2
1-1-3	人文的特性	4
1-1-4	自然的特性	5
1-2	上位・関連計画	8
1-2-1	恵庭市緑の基本計画	8
1-2-2	恵庭地区まちづくり構想（委員会報告）	9
1-2-3	恵庭市公共施設花づくり基本指針整備・運営計画	11
1-2-4	札幌恵庭自転車道延伸計画	12
1-3	現状の利用状況	13
2	敷地分析	15
2-1	恵庭ふるさと公園の特性	15
2-2	現状の課題の整理	16
3	計画内容の検討及び設定	17
3-1	基本理念と基本方針の設定	17
3-2	整備方針の設定	18
3-3	ゾーニング・動線計画	19
3-4	施設計画及び利活用方法	22
3-4-1	メインアプローチ広場	22
3-4-2	木立と芝生の広場	23
3-4-3	林床の植物を楽しむ散策路	24
4	今後に向けた課題	25
4-1	管理運営計画	25
4-2	Park-PFI への取組み	26
5	事業計画	27
6	参考資料	28

## 1 現況把握

### 1-1 恵庭ふるさと公園の概要

#### 1-1-1 恵庭ふるさと公園の沿革

恵庭ふるさと公園は、黄金土地区画整理事業により周辺の住環境が整備される中で、漁墓地が平成3年3月に西島松地区へ移転し、その跡地に新たな公園として整備されました。

恵庭ふるさと公園は、昭和62年3月に「黄金中央公園」の名称で都市計画決定されましたが、その後昭和63年から平成3年度にわたり総事業費約8億6千万円をかけた整備事業が実施され、平成4年6月1日に現在の名称「恵庭ふるさと公園」としてオープンしました。

面積は供用開始時は4.6haでしたが、平成12年及び平成25年に道路計画の変更に伴い公園区域変更が行われ、現在の都市計画決定面積は4.0haとなっています。

図表 1-1 公園周辺航空写真



## 1-1-2 社会的特性

### ○ 位置

本公園は、JR 恵庭駅より北側に約 400m の距離に位置しており、黄金地区のほぼ中央に立地しています。

### ○ 交通

本公園は四方が市道に接しております。公園東側を走る都市計画道路の黄金学園通（幅員 25m）は、JR 恵庭駅と北海道文教大学を結ぶ黄金地区の幹線道路の 1 つとなっており、自動車や歩行者の交通が多い道路となっています。

図表 1-2 公園周辺の道路一覧

	道路名	区分	幅員
敷地北側	恵庭北25号線	市道	8.0m
敷地東側	黄金学園通	都市計画道路	25.0m
敷地南側	恵庭北76号線	市道	11.5m
敷地西側	黄金4号線	市道	11.0m

### ○ 公共施設・教育施設

本公園の 1km 圏域には、北海道文教大学を初め恵庭市立恵明中学校、恵庭市立こすもす保育園、ひまわり幼稚園が立地しています。また、公園より北北東に約 1.5km 離れた場所に恵庭総合体育館が立地しています。

図表 1-3 公園周辺の公共・教育施設一覧

公共・教育施設名	公園からの距離
北海道文教大学	北北東約400m
恵庭市立恵明中学校	北北東約600m
恵庭市立こすもす保育園	南南西約600m
ひまわり幼稚園	北東約600m
恵庭総合体育館	北北東約1500m

### ○ 用途地域

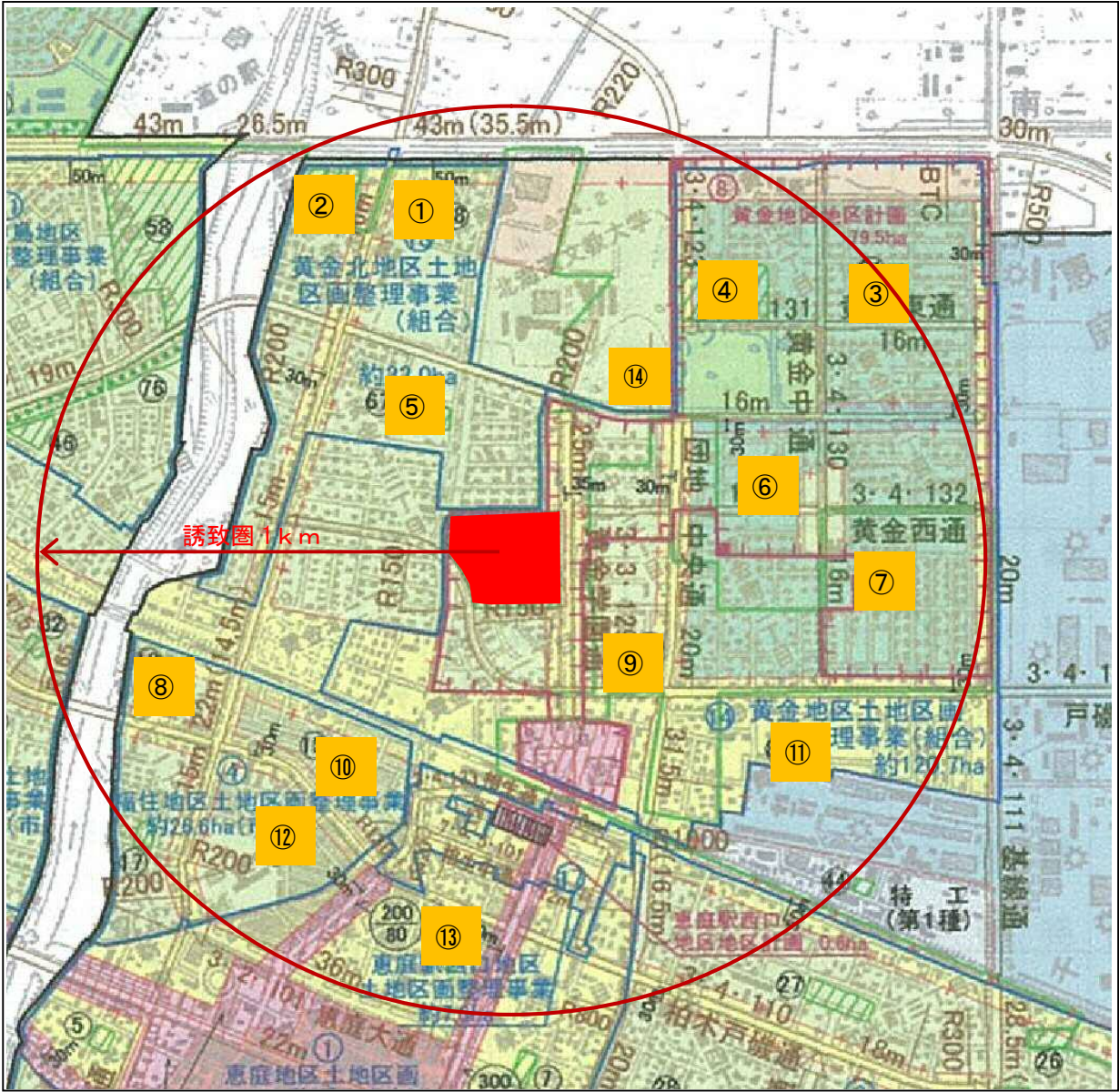
本公園周辺は第 2 種中高層住居専用地域及び第 1 種住居地域となっており、一戸建ての住宅を主とした落ち着いた街並みを形成しており、住環境の優れた地域となっています。



○ 都市公園・遺跡

本公園の誘致圏域半径1km内には、13の都市公園が立地しています。また、本公園の北東200m先には、国指定遺跡であるカリンバ遺跡があります。

図表 1-4 恵庭ふるさと公園誘致圏域内の都市公園・遺跡位置図



出典：恵庭市都市計画図

## 1-1-3 人文的特性

## ○ 人口

誘致圏の主とする黄金地区（黄金北・黄金中央・黄金南）の人口は、平成30年2月末現在で9,464人となります。人口構成の内訳としては、全市と比べ年少人口及び労働人口の比率が高く、子育て世代の多い地区であることがわかります。

図表 1-5 公園周辺及び全市の人口構成一覧

地区	年少人口	労働人口	高齢人口	小計
黄金北1丁目	82	409	100	591
黄金北2丁目	70	352	141	563
黄金北3丁目	79	462	211	752
黄金北4丁目	82	484	128	694
黄金中央1丁目	67	306	140	513
黄金中央2丁目	30	227	69	326
黄金中央3丁目	102	435	91	628
黄金中央4丁目	43	275	76	394
黄金南1丁目	242	615	125	982
黄金南2丁目	128	431	147	706
黄金南3丁目	215	653	65	933
黄金南4丁目	222	630	102	954
黄金南5丁目	95	180	26	301
黄金南6丁目	74	220	25	319
黄金南7丁目	212	542	54	808
小計	1,743	6,221	1,500	9,464
(割合) (%)	18	66	16	
全市	8,974	41,713	18,514	69,201
(割合) (%)	13	60	27	

出典：恵庭市ホームページ 恵庭市年齢別人口調べより

※年少人口は0～14歳、労働人口は15～64歳、高齢人口は65歳以上を集計

1-1-4 自然的特性

○ 樹木

本公園内には、整備前から自生していた巨木が多く生育しており、風格のある豊かな空間がそこかしこで見られます。特に敷地北側にはカシワが群落で生育しており、本公園の特色の1つともなっています。

樹種は、カシワを初めエゾヤマザクラ、ミズキ、コブシ、モミジなどの広葉樹が37種945本、オンコやアカエゾマツなどの針葉樹が11種297本（何れも低木を含まない）生育しています。

図表 1-6 公園内の樹種及び本数一覧

	樹種	本数		樹種	本数		樹種	本数
広葉樹 高木	カシワ	371	広葉樹 高木	ハシドイ	9	広葉樹 中木	イボタ	5
	エゾヤマザクラ	112		ヨシノザクラ	9		マユミ	3
	ミズキ	60		ネグンドカエデ	7		エゾニワトコ	2
	ヤマグワ	60		ヤナギ	7	つる植物	バイカウツギ	1
	コブシ	34		キハダ	4		フジ	5
	ナナカマド	28		ブラタナス	4	針葉樹	オンコ	114
	ハルニレ	28		ミズナラ	4		アカエゾマツ	59
	ヤマモミジ	27		メイゲツカエデ	4		ニッコウヒバ	45
	カツラ	22		ケヤキ	2		ストローブマツ	32
	シラカンバ	22		ニセアカシア	2		ブンゲンストウヒ	14
	イチョウ	19		ホウノキ	2		モンタナマツ	13
	エゾノコリンゴ	19		ドロノキ	1		トドマツ	12
	イタヤカエデ	17		ノムラモミジ	1		サワラヒバ	3
	ハリギリ	13		ヤマハンノキ	1		ニオイヒバ	3
	クリ	12		ツリバナ	12		イトヒバ	1
トチノキ	9	ライラック	7	カイヅカイブキ	1			
広葉樹高木：30種910本		広葉樹中木：6種30本		つる植物：1種5本		針葉樹：11種297本		合計 48種1,242本（低木を含まない）

樹種	本数	樹種	本数
ドウダンツツジ	339	キレンゲツツジ	14
リュウキュウツツジ	127	ギンロウバイ	12
ニシキギ	104	ベニウツギ	11
ヨドガワツツジ	103	シモツケ	10
エゾヤマツツジ	102	ハイビャクシン	9
アジサイ	72	モンタナマツ	9
ハマナス	57	カバレンゲツツジ	8
アメリカメギ	32	ウツギ	5
オンコ	25	ヤマハギ	5
レンギョウ	25	ライラック	4
ユキヤナギ	24	イボタ	2
エゾムラサキツツジ	22	玉ドウダンツツジ	2
ハコネウツギ	20	ツルバラ（大）	1
低木 合計		26種	1,144



出典：平成29年樹木調査資料（恵庭市貸与）より



○ 林床植物

本公園内北側のカシワ林の林床ではフキが繁茂していますが、春先にはフクジュソウやニリンソウ、夏にはオオウバユリなどの野草が観察できます。



カシワ林内  
フキなどの繁茂する林床



フクジュソウ



ニリンソウ



オオウバユリ

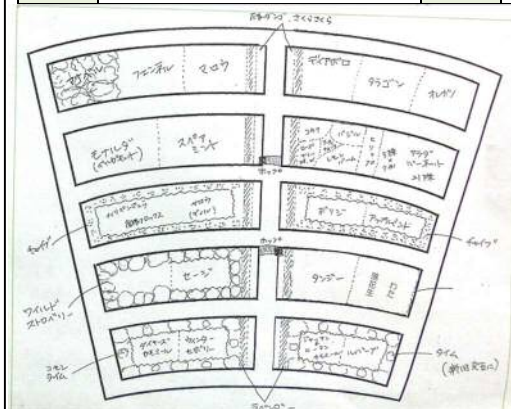
○ 既設ハーブ園の植物

本公園内中央付近にあるハーブ園では、ハーブの維持作業を行いながら、植物を学び楽しむ「フラワー・グリーンプロジェクト（仮）」の企画が平成 26 年度からスタートしています。

現在ハーブ園では、下表の植物が栽培されており、鑑賞や催しの際の素材として利用したりして、市民に親しまれています。

図表 1-7 既設ハーブ園の植栽植物一覧

ハーブ	ラベンダー	ハーブ	タンジー	ハーブ以外	アメリカノリノキ
	ヤロウ		スペアミント		アメリカテマリシモツケ
	ウインターセボリー		ヒソップ		フィリペンデュラ
	バジル		ポリジ		宿根フロックス
	マロウ		ダイヤーズカモミール		ポランティア
	コモンタイム		レモンバーム		落花生
	ワイルドストロベリー		カモミール		ワタ
	タラゴン		アップルミント		スピレア
	サラダバーネット		チャイブ		ホップ
	モナルダ		ルバーク		
	フェンネル		ナスタチューム		
	ローズマリー		アーティチョーク		
	オレガノ				



既設ハーブ園の植栽図（2016年）

### ○ 樹木密度

本公園内の樹木は、航空写真からも分かるように、樹冠が重なりあっているため、テニスコート場や駐車場、遊戯広場以外の大部分については、園路や広場を確認することが難しい状況となっています。特に葉の茂る夏季は、薄暗い状況となる箇所が多くなります。

公園内の平均樹木密度は 3.88 本/100 m<sup>2</sup>ですが、カシワ林が生育している部分では 6 本～8 本/100 m<sup>2</sup>となっています。

図表 1-8 公園航空写真公園・既存樹木位置図



出典：平成 29 年樹木調査資料（恵庭市貸与）より



## 1-2 上位・関連計画

## 1-2-1 恵庭市緑の基本計画

恵庭市緑の基本計画は、将来の緑や公園がどうあるべきかを定める計画で、長期的視野で策定しています。緑の将来像を、水と緑ゆたかな“やすらぎのあるまち”と定め、「緑をまもろう」、「緑をふやそう」、「緑をそだてよう」の3つの視点を基本に、それらに関連づけて「つなぐ」ことで価値を高め、恵庭らしさの緑づくりを進めていきます。

図表 1-9 恵庭市緑の基本計画での緑の将来像と3つの視点

水と緑ゆたかな“やすらぎのあるまち”	1) 緑を まもろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>●柱その1 自然地の 保全               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 適正な土地利用による保全</li> <li>② 市街地の緑の維持</li> <li>③ 公園緑地等整備にあたっての配慮</li> </ul> </li> <li>●柱その2 樹木・樹林の 保全               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 森林の保全</li> <li>② 樹林地の保全</li> <li>③ 法や条例などによる保全</li> </ul> </li> <li>●柱その3 水辺と生態系 の保全               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 水辺環境の保全</li> <li>② 生物多様性の確保</li> <li>③ 河川管理者との連携</li> </ul> </li> <li>●柱その4 農地の保全と 交流               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 農地の保全と田園景観の維持形成</li> <li>② 美しい農村景観づくり</li> <li>③ 都市と農村の交流</li> </ul> </li> </ul>
	2) 緑を ふやそう	<ul style="list-style-type: none"> <li>●柱その1 公園施設等の 整備・維持               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 適正な公園の配置</li> <li>② 骨格的な公園の整備</li> <li>③ 緑地の拡充</li> <li>④ 特色のある公園の整備</li> <li>⑤ 公園施設長寿命化計画の推進</li> </ul> </li> <li>●柱その2 緑のネット ワークの形成               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 道路の緑化</li> <li>② 緑道・自転車歩行者道の整備</li> <li>③ 結節点の整備</li> </ul> </li> <li>●柱その3 公共公益施設 の緑化               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 公共公益施設の緑化</li> <li>② 学校緑化</li> <li>③ 国・道などの施設の緑化</li> </ul> </li> <li>●柱その4 民有地の緑化               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 住宅地の緑化推進</li> <li>② 工業地の緑化推進</li> <li>③ 商業地の緑化推進</li> <li>④ 緑化協定や建築協定制度の活用</li> </ul> </li> </ul>
	3) 緑を そだてよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>●柱その1 市民の 参加・協力               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 緑化機会の確保</li> <li>② 管理体制の構築</li> <li>③ 水と緑のまちづくり推進基金の充実</li> <li>④ 緑の募金</li> </ul> </li> <li>●柱その2 自然保護活動 と環境教育の 推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 自然保護意識の普及啓発</li> <li>② 自然保護団体との協働</li> <li>③ 環境ボランティアの育成</li> <li>④ 緑化学習の推進</li> <li>⑤ 緑化講習会の開催</li> </ul> </li> <li>●柱その3 緑の広報活動               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 緑の散策マップの発行</li> <li>② 観察会の開催</li> <li>③ 緑のPR</li> </ul> </li> <li>●柱その4 花の まちづくり               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 推進体制の確立</li> <li>② 街に花と緑をふやす</li> <li>③ 花の供給システムの維持・発展</li> <li>④ 推進拠点づくり</li> <li>⑤ イベントの開催</li> </ul> </li> </ul>

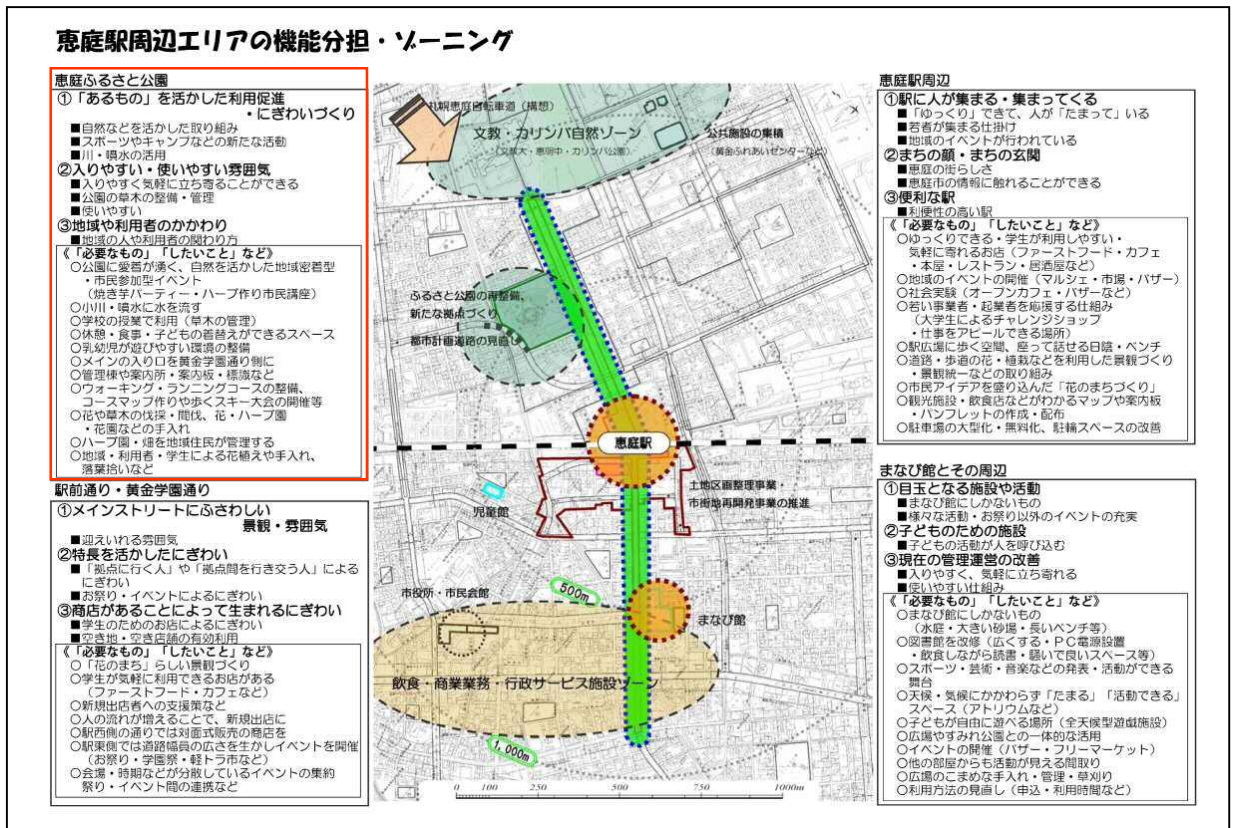
出典：恵庭市緑の基本計画より

### 1-2-2 恵庭地区まちづくり構想（委員会報告）

恵庭地区まちづくり構想は、まちの将来像、まちづくりの方向性や具体的な手段・手法について検討されたもので、平成25年3月恵庭地区まちづくり市民委員会によりまとめられました。

本報告において恵庭ふるさと公園は、その豊かな自然や、メインストリートに面した立地条件・周辺環境の良さ（近所に住んでいる子どもの人数や学生の通行量等）など、にぎわいのポテンシャルは高い拠点であるが、成長しすぎた木々による暗い雰囲気や、景観を損ねるブルーシート、水が流されていない小川などが課題として挙げられ、今後は、地域・利用者が維持管理の担い手となることにより、利用者目線での維持管理の推進。加えて「市民や利用者によるハーブ園でのハーブ栽培」「落葉を集めての焼き芋」のような参加型・イベント型の利用促進策など、ソフト中心の取組みを行うことで、利用される魅力的な拠点づくりが提案されています。

図表 1-10 恵庭駅周辺エリアの機能分担・ゾーニング図



出典：恵庭地区まちづくり構想（委員会報告）より



図表 1-11 恵庭ふるさと公園の活動イメージ・機能表

2. 恵庭ふるさと公園		◆:委員会意見 ◇:ワークショップ意見	
求められる機能・将来イメージ		そのために「必要なこと」「したいこと」など	
① 「あるもの」を活かした利用促進・にぎわいづくり	<b>【自然など活かした取り組み】</b> ◆◇ 自然を楽しむ・自然に親しむ風景 ◆ 観光目的などでハーブ園を見にくる人がいる ◆◇ 年代を問わず楽しむことができる ◆ 子供たちが遊んでいる声が聞こえる ◇ 小川・ハーブ園など「今あるもの」の中に十分活用できるものがある ◆ 学校の授業など、まなびの場としても利用 ◆◇ イベントの場所としての活用	ハード	◆◇ 休憩所・あずまや・屋根付きのスペース（休憩・食事・弁当・子供の着替えなど） ◆◇ 芝生やベンチなどのくつろげる場所 ◇ 全面芝生化
		ソフト	◆ 落ち葉拾いイベント(焼き半パーティー) ◆ ハーブの活用・ハーブのイベント ハーブをつくり育てる市民講座 ◆ 公園内の剪定で出た木でベンチなどをつくる ◆ 学校の授業に利用(草木の管理など) ◆ 公園に愛着がわくような、地域密着型・参加型のイベント ◆ 盆踊り会場としての活用 ◆ 学園祭時期と合わせたイベント ◆ ライブイベント
		その他	
	<b>【スポーツやキャンプなどの新たな活動】</b> ◆◇ スポーツが行われている ウォーキング、ランニング、歩くスキー、スケボー、3on3(バスケットボール)など ◆◇ キャンプなどが行われている ◆◇ イベントが行われている ◇ スポーツなどで利用が増えることで治安の改善にも	ハード	◆◇ ウォーキングコース・ランニングコース ◆◇ キャンプ場としての整備 ◇ 樹木を間伐し多目的に使える広場をつくる ◆ ゲートボール場を活用したスケボーパーク・3on3のコート整備
		ソフト	◆ 歩くスキー大会を開催する ◆ ウォーキングコースのマップをつくる
		その他	
	<b>【川・噴水の活用】</b> ◆◇ 水(小川・噴水)のある風景	ハード	
		ソフト	◆◇ 小川の清掃
		その他	◆◇ 小川・噴水に水を流す
② 入りやすい・使いやすい券囲気	<b>【入りやすく気軽に立ち寄ることができる】</b> ◆◇ 公園の内部で行われていることが公園の外からも見える ◆◇ 分かりやすい入口位置・入りやすい入口の券囲気	ハード	◆◇ メインの入り口を黄金学園通りに ◆ 入り口から公園内もバリアフリー化 ◇ 乳幼児が遊びやすい環境(遊具など)の整備
		ソフト	
		その他	◆ 現在のグリーンネットの撤去・縮小 ◆◇ 夜間にも活動等を行い遅い時間でも入りやすく
	<b>【公園の草木の整備・管理】</b> ◆◇ 他の人の活動が見える ◇ 手入れの行き届いた花壇や花園	ハード	
		ソフト	◆◇ 花や草木の伐採・間伐 ◆◇ 花・ハーブ園・花園などの手入れ
		その他	
<b>【使いやすい】</b> ◆◇ 公園の見どころを伝える取り組み	ハード	◆ 管理棟や案内所・案内板・標識など	
	ソフト	◆ 公園の魅力のPR	
	その他		
③ の地 か 域 か わ り 者	<b>【地域の人や利用者の関わり方】</b> ◆◇ 地域住民や学生などの利用者による管理運営 ◆ 地域住民や企業が育てた花や緑でいっぱいの風景	ハード	
		ソフト	◆ ハーブ園・畑を地域住民が管理する ◆◇ 地域・利用者・学生による花植えや手入れ、落葉拾いなど ◆ 花の里親制度
		その他	◆ 管理人

出典：恵庭地区まちづくり構想（委員会報告）より

## 1-2-3 恵庭市公共施設花づくり基本指針整備・運営計画

恵庭市では、公共施設における花植えに関する方針や、庁内組織体制、財源などに関する基本的な行動指針など、継続的な事業実施を図ることを目的として、平成29年に恵庭市公共施設花づくり基本指針整備・運営計画を策定しています。

本公園も同指針における花の観光拠点の1つとして位置付けられ、具体的な取り組みとしては、札幌恵庭自転車道延伸に伴う自転車道路や大幅員の歩行者散策路の回廊整備、デザイン性を重視した大型花壇の整備、既存樹木の間引きや下枝剪定による防犯・安全面に配慮した公園整備としています。

図表 1-12 恵庭ふるさと公園の整備イメージ図及び整備内容（案）



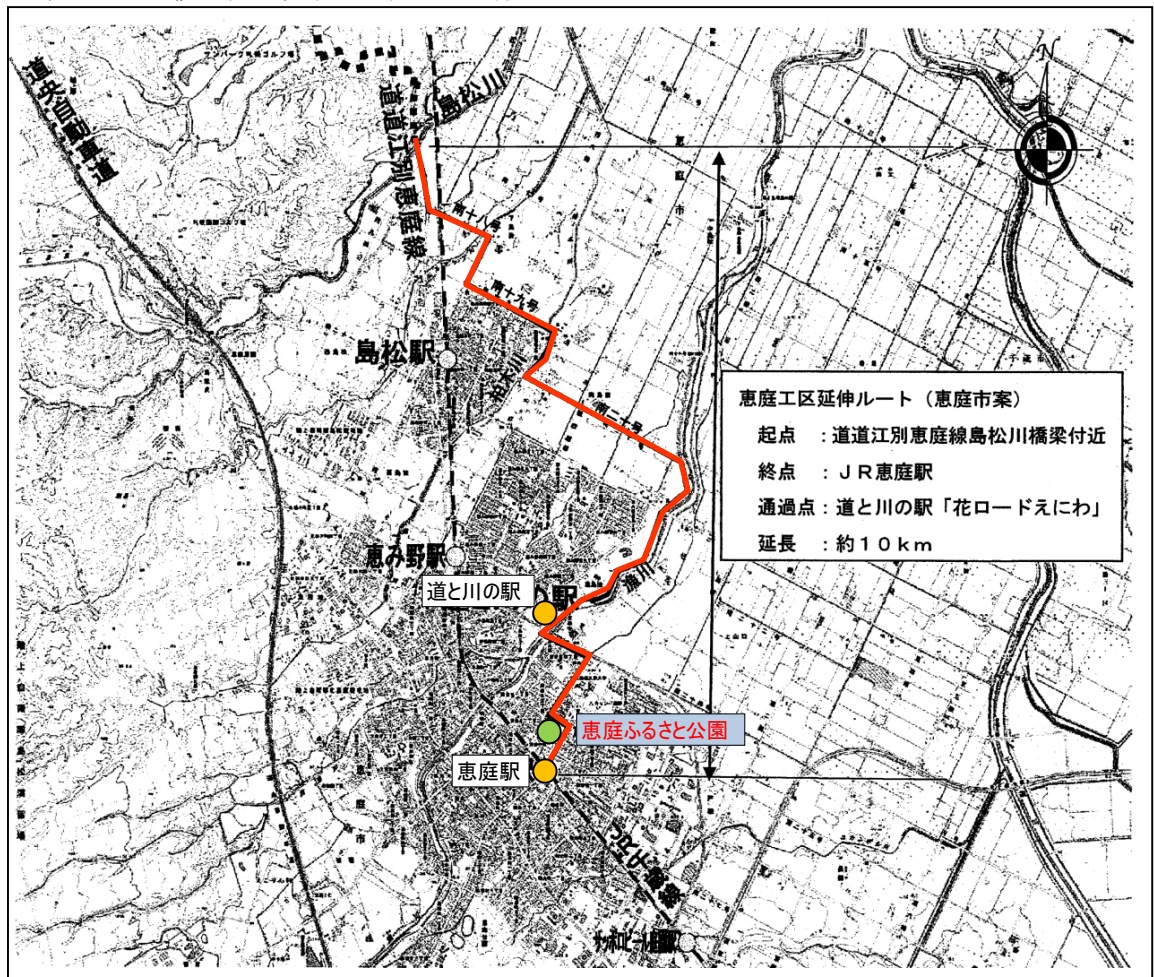
出典：恵庭市公共施設花づくり基本指針整備・運営計画より

## 1-2-4 札幌恵庭自転車道延伸計画

北海道で事業を進めている札幌恵庭自転車道延伸計画では、道道江別恵庭線島松川橋梁付近を起点とし、JR恵庭駅を終点とする計画となっています。

具体的な延伸ルートは未定ですが、本公園の敷地北側の一部を通りながら、黄金学園通の車道部を利用するルートが検討されています。

図表 1-13 札幌恵庭自転車道恵庭工区延伸ルート図



出典：札幌恵庭自転車動線 恵庭工区延伸ルート（恵庭市案 H28.2 現在）  
（総務文教常任委員会所管事務報告資料より）

## 1-3 現状の利用状況

本公園は早朝から夕方まで、地域住民の方々が健康増進や自然観察、散策・レクリエーションなど多岐に亘った目的で多く利用されています。

また、市内小学校や保育園などでの遠足や親子レク、自主活動団体によるプレーパークやガーデニング講座など、地域活動の場として利用されています。

図表 1-14 恵庭ふるさと公園における団体利用一覧

								平成28年11月末現在
利用区分	利用月	団体名	代表者	人数	日数	合計	利用内容	
H24	団体	5月	恵庭市立柏小学校	菊崎睦裕	103	1	103	遠足
	団体	5月	恵庭市立若草小学校	高秀愛司	98	1	98	遠足
	団体	6月	恵庭市立和光小学校	曾根紫保	164	1	164	遠足
	団体	6月	恵庭市立恵み野旭小学校	長坂文彦	63	1	63	遠足
	団体	7月	こすもす保育園	後藤多美子	38	1	38	親子レク
						466		
H25	団体	5月	恵庭市立若草小学校	高秀愛司	80	1	80	遠足
	団体	5月	恵庭市立柏小学校	甲斐文治	123	1	123	遠足
	団体	6月	恵庭市立恵み野旭小学校	橋本悟	65	1	65	遠足
	団体	6月	恵庭市立和光小学校	鈴木香菜代	180	1	180	遠足
	団体	9月	恵庭市立和光小学校	鈴木香菜代	171	1	171	遠足
	団体	9月	恵庭市立恵み野小学校	駒場義剛	71	1	71	遠足
	団体	11月	ふる里を創る会	坪川桂一	100	1	100	焼芋会(落葉掃除・FW含む)
						790		
H26	団体	5月	恵庭市立島松小学校	平田弘子	76	1	76	遠足
	団体	5月	恵庭市立若草小学校	高秀愛司	90	1	90	遠足
	団体	5月	恵庭市立柏小学校	甲斐文治	181	1	181	遠足
	団体	6月	恵庭市立和光小学校	星和彦	170	1	170	遠足
	団体	6月	恵庭市立恵み野旭小学校	橋本悟	56	3	168	遠足
	団体	6月	えにわプレーパーク実行委員会	鈴木祥江	20	1	20	プレーパーク
	団体	7月	えにわプレーパーク実行委員会	鈴木祥江	20	1	20	プレーパーク
	団体	8月	えにわプレーパーク実行委員会	鈴木祥江	20	1	20	プレーパーク
	団体	8月	島松病院院内保育園	渋井徳身	19	1	19	親子レク
	団体	9月	えにわプレーパーク実行委員会	鈴木祥江	20	1	20	プレーパーク
	団体	10月	えにわプレーパーク実行委員会	鈴木祥江	20	1	20	プレーパーク
	団体	10月	ふる里を創る会	坪川桂一	120	1	120	焼芋会(落葉掃除・FW含む)
	団体	12月	えにわプレーパーク実行委員会	鈴木祥江	30	1	30	プレーパーク
	団体	1月	えにわプレーパーク実行委員会	鈴木祥江	30	1	30	プレーパーク
団体	2月	えにわプレーパーク実行委員会	鈴木祥江	30	1	30	プレーパーク	
						1014		
H27	団体	5月	恵庭市立若草小学校	前田彰	117	1	117	遠足
	団体	5月	恵庭市立島松小学校	平田弘子	74	1	74	遠足
	団体	6月	恵庭市立恵み野旭小学校	福田幸一	60	1	60	遠足
	団体	6月	恵庭市立柏小学校	甲斐文治	84	1	84	遠足
	団体	6月	恵庭市立和光小学校	杉本任士	186	1	186	遠足
	団体	7月	認定こども園幼稚園あえるむ	岩下睦子	45	1	45	遠足
	団体	6月	えにわプレーパーク実行委員会	鈴木祥江	20	1	20	プレーパーク
	団体	7月	えにわプレーパーク実行委員会	鈴木祥江	50	1	50	プレーパーク
	団体	9月	恵庭市立恵み野小学校	吉川武志	69	1	69	遠足
	団体	10月	ふる里を創る会	坪川桂一	150	1	150	焼芋会(落葉掃除・FW含む)
	団体	9月	えにわプレーパーク実行委員会	鈴木祥江	20	1	20	プレーパーク
	団体	11月	えにわプレーパーク実行委員会	鈴木祥江	20	1	20	プレーパーク
	団体	12月	えにわプレーパーク実行委員会	鈴木祥江	30	1	30	プレーパーク
	団体	2月	えにわプレーパーク実行委員会	鈴木祥江	20	1	20	プレーパーク
						945		
H28	団体	5月	えにわプレーパーク実行委員会	鈴木祥江	117	1	117	プレーパーク
	団体	5月	恵庭市立若草小学校	前田彰	74	1	74	遠足
	団体	6月	恵庭市立柏小学校	佐藤辰彦	60	1	60	遠足
	団体	5月	恵庭市立島松小学校	平田弘子	84	1	84	遠足
	団体	6月	恵み野旭小学校	福田幸一	186	1	186	遠足
	団体	6月	恵庭市立和光小学校	岸本さおり	45	1	45	遠足
	団体	7月	えにわプレーパーク実行委員会	鈴木祥江	20	1	20	プレーパーク
	団体	8月	えにわプレーパーク実行委員会	鈴木祥江	50	1	50	プレーパーク
	団体	10月	ふる里を創る会	坪川桂一	69	1	69	焼芋会(落葉掃除・FW含む)
							705	

出典：恵庭市貸与資料より



ガーデニング講座・フラワーグリーンプロジェクト（仮）の活動内容

◇第1回 ガーデニング講座

・日 時 平成27年5月16日（土）  
 ・場 所 恵庭建設会館 2階 会議室  
 ・内 容 初夏の花を使った楽しい寄せ植え  
 ・受 講 者 25名  
 ・講 師 (株)サンガーデン 土谷美紀  
 藤田早苗

◇第2回 ガーデニング講座

・日 時 平成27年5月23日（土）  
 ・場 所 恵庭建設会館 2階 会議室  
 ・内 容 盆栽教室 種蒔や植替え  
 ・受 講 者 12名  
 ・講 師 宮前敏美

◇第3回 ガーデニング講座

・日 時 平成27年6月13日（土）  
 ・場 所 恵庭ふるさと公園（雨天の為、建設会館へ変更）  
 ・内 容 初心者向けビギナーハンギング  
 ・受 講 者 12名  
 ・講 師 (株)サンガーデン 藤田早苗  
 上田恵子

◇第1回 ガーデニング緑の講座

・日 時 平成27年8月8日（土）  
 ・場 所 恵庭ふるさと公園  
 ・内 容 樹木の剪定 ～樹木の形を整えよう～  
 ・受 講 者 6名  
 ・講 師 (株)北集団 近藤耕治

◇第2回 ガーデニング緑の講座

・日 時 平成27年10月31日（土）  
 ・場 所 恵庭ふるさと公園  
 ・内 容 樹木の剪定と冬囲い  
 ・受 講 者 ※悪天中止※

◇ふるさと公園 フラワー・グリーンプロジェクト(仮)

・日 時 平成27年4月25日（土） ハーブの種まき  
 平成27年5月23日（土） ハーブ苗の植込み  
 平成27年6月20日（土） 除草等メンテナンス  
 平成27年7月25日（土） ハーブの収穫  
 平成27年8月22日（土） 除草等メンテナンス  
 平成27年9月26日（土） 収穫と刈込作業  
 平成27年10月24日（土） ドライハーブの整理  
 平成27年11月28日（土） ナチュラルリース作り  
 平成28年1月23日（土） ハーバルバスブレンド作り  
 平成28年2月20日（土） ハーブティのいれ方  
 平成28年3月26日（土） ハーブでチンキ作り  
 ・場 所 恵庭ふるさと公園、恵庭建設会館、ティーズガーデン  
 ・内 容 ハーブの講習、ハーブ園整備  
 ・受 講 者 合計118名  
 (株)サン・ガーデン 土谷美紀  
 アロマセラピスト 若木里美

平成27年度 ガーデニング 緑の講座 第回 ～樹木の夏季剪定・形を整える～  
 平成27年8月8日(土)



ふるさと公園 フラワー・グリーンプロジェクト(仮) ハーブの会～4月～  
 平成27年4月25日(土)



出典：恵庭市貸与資料より

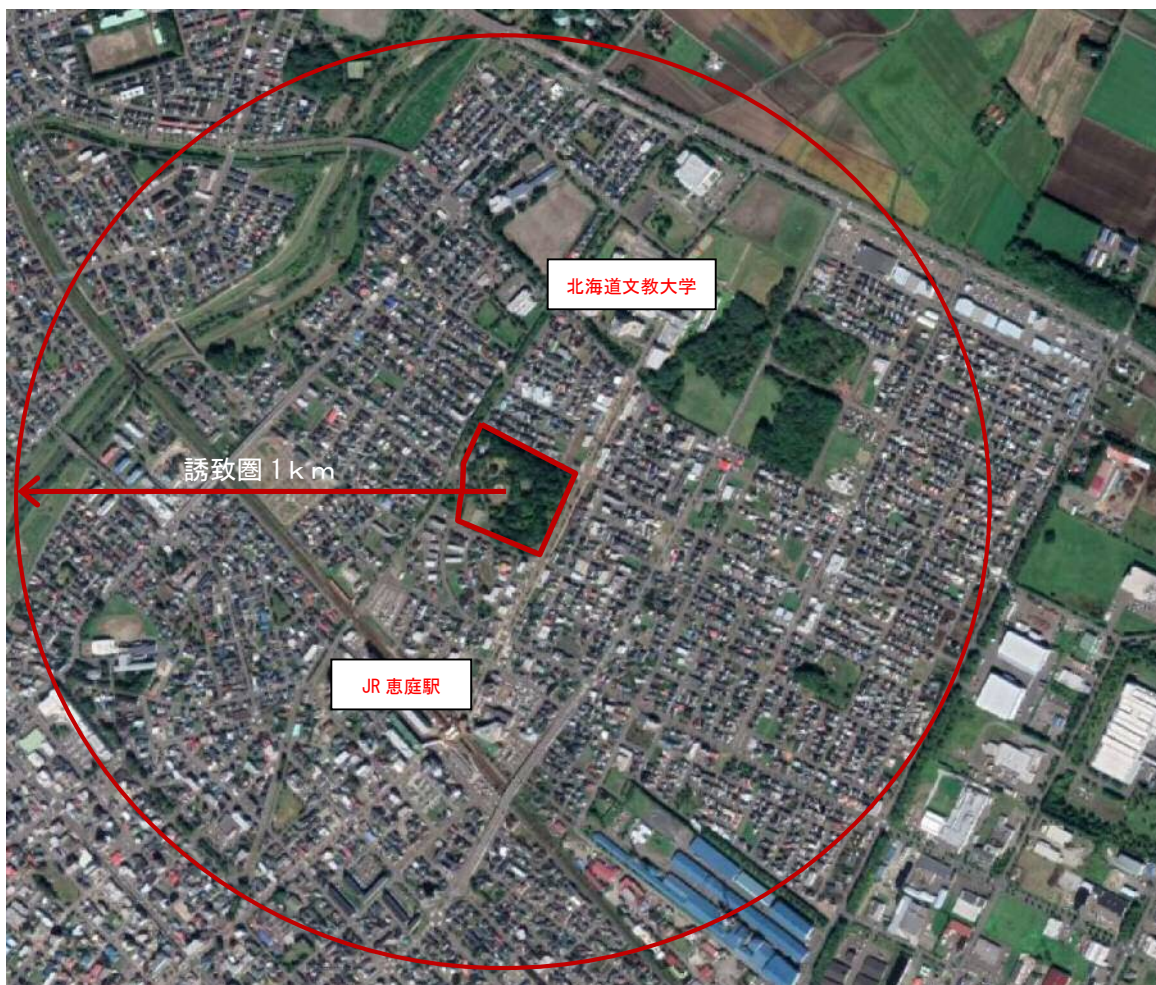
## 2 敷地分析

### 2-1 恵庭ふるさと公園の特性

本公園の特性を以下に整理します。

- ・ 本公園は、JR 恵庭駅北側周辺に広がる黄金地区における緑の拠点であり、災害時の避難空間の形成や防災性の向上、レクリエーションや自然とのふれあいの場の創出、潤いのある都市景観の形成など多様な機能や役割を担っている。
- ・ 本公園の誘致圏域の主となる黄金地区の年齢構成は、年少人口の割合が高く子育て世代の多い地域となっている。
- ・ 本公園東側に面する黄金学園通は、北海道文教大学に通う学生の通学路にもなっており、自動車の往来を含め人通りの多い通りとなっている。
- ・ 植生は、カシワを初め整備前から自生している巨木が多く生育している。また、春野草なども自生しており、豊かな緑地空間を形成している。

図表 1-15 公園周辺航空写真





## 2-2 現状の課題の整理

現況把握を踏まえ、計画内容の検討及び設定に向けた現状の課題を以下に整理します。

### ○ 利用者の安全性と快適性の確保

本公園は整備後 30 年程度が経過し、整備時に植栽された樹木や整備前から自生していたカシワなどが大きく成長し、また樹木密度も高いことから見通しが悪く、薄暗い空間となっています。これらは、公園利用の動機を著しく妨げるばかりか、樹木同士の被圧により適正な成長を阻害しています。従って、利用用途に即した樹木密度の人的コントロール（伐採・剪定等）が必要と考えます。



樹木の繁茂による見通しの悪い状況



### ○ 公園周辺の動線に対応したアプローチ（出入口・広場）の整備

本公園整備時のメインアプローチは、敷地西側に面する黄金 4 号線でしたが、平成 12 年の道路計画の変更に伴い、現在では敷地東側の黄金学園通が最も交通量が多く賑わいのある通りとなっています。しかしながら、本公園からへのアプローチとしては、出入口が数ヶ所ある程度であるため、積極的な公園利用を促す出入口や広場を整備する必要があります。

### ○ 既存老朽化施設の撤去・更新

整備後 30 年程度が経過し、木製の施設を中心に施設の破損や腐朽など老朽化が進んでいます。再整備にあたり、既存施設の機能や役割を踏まえた撤去や更新が必要となっています。

### ○ 誰もが楽しめる公園施設の提供

本公園内の一部はバリアフリーに配慮されていない箇所もあります。都市公園の移動等円滑化ガイドラインや、恵庭市バリアフリー基本構想を踏まえた整備を進め、誰もが楽しめる公園施設の提供を進めます。

## 3 計画内容の検討及び設定

### 3-1 基本理念と基本方針の設定

本公園は、みどり豊かな自然環境の下、自然観察や健康増進を目的とした散策、またプレーパーク（冒険遊び場）やハーブ園を利用した自主活動も多く行われています。

再整備を進めるにあたり、地域の緑のシンボルである本公園の魅力を再認識し、安全で快適な公園環境の改善、また豊かで潤いのある生活と都市環境の形成を図るべく、以下のような基本理念と基本方針を設定します。

#### Basic principle—基本理念

**～地域コミュニティをつなぎ  
次世代に引き継ぐふるさと公園～**

#### Basic policy—基本方針

##### “らしさ” が感じられるみどりと花の景観づくり

- ・ 地域のシンボルである良好な緑を活かした、新たなみどりと花の景観づくりを進め、他の花の拠点との差別化を図ります。
- ・ 花苗の生育や地域住民による植栽など、地域が中心となった“花育”の取り組みを進めます。

##### 新たな地域のにぎわい拠点（顔づくり）の創出

- ・ 様々な地域活動を促す空間を確保し、利用者の価値観や思いを共有する交流の場を創出します。
- ・ 誰もが立寄りやすい明るく開放的な空間とし、潜在的ニーズへの対応と地域コミュニティの活性化を進めます。

##### 地域参加型による持続可能な管理・運営

- ・ 地域住民や商店街、また市民活動団体などが公園の運営管理の一部に携わることのできる仕組みづくりを進めます。



## 3-2 整備方針の設定

基本方針を具体化するための整備方針を以下のように設定します。

### 整備方針

#### 立ち寄りやすい明るく開放的な出入口

- ・ メインアプローチとなる黄金学園通に面する部分は、歩道と一体となった広場として整備を行い、気軽に立ち寄れる空間とします。
- ・ 地域が主体となった花育を進め、新たなにぎわいと地域コミュニティを促します。

#### 多様な地域活動を促す木立と芝生の広場

- ・ 四季を通して、様々な地域活動や自主活動を行うことのできる芝生の広場を整備します。
- ・ フレキシブルな利用を考慮し、広場周辺には出来るだけ作工物は整備しません。

#### 良好な自然環境の創出と緑のリサイクル

- ・ カシワ林が生育している部分については、適度な間引きを進め、草本の回復を図るとともに、シェードガーデン（注1）が楽しめる空間とします。
- ・ 緑のリサイクルの視点に立ち、一部堆肥場などのバックヤードを確保します

#### サービス施設の整備による利便性の向上

- ・ Park-PFI（注2）により、公園の魅力向上、持続的な施設整備・更新を目的として、民間資金による便益施設（カフェ等の収益施設、駐車場やトイレ）の建設スペースを確保します。

注1 シェードガーデン

樹木や建物などによって半日陰～日陰になる部分に有る程度耐陰性のある植物を植えた庭



注2 Park-PFI（公募設置管理制度）

飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生じる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する制度であり、都市公園に民間の優良な投資を誘導し、公園管理者の財政負担を軽減しつつ、都市公園の質の向上、公園利用者の利便の向上を図る整備・管理手法。

### 3-3 ゾーニング・動線計画

#### ○ メインアプローチの設定

本公園周辺の動線を勘案し、公園へのメインアプローチを、新たに黄金学園通側に設定します。また、自動車でのアクセスに配慮し、駐車スペースを恵庭北 76 号線に設定します。

#### ○ 賑わいと彩りのゾーン～メインアプローチ広場

本公園の新たな顔となるゾーンと位置づけ、日常的な賑わいと草花による彩りが楽しめるゾーンとします。黄金学園通に面して確保するメインアプローチに広場的な要素を持たせることで、隣接する歩道と一体的な空間とします。

#### ○ 地域活動を促す多目的ゾーン～木立と芝生の広場

四季を通して様々な地域活動や、自主活動が楽しめるゾーンと位置づけ、公園利活用を促します。メインアプローチ広場に隣接する敷地中央に配置することで、多くの人たちが興味関心を持てるようにします。

#### ○ 自然観察ゾーン～林床の植物を楽しむ散策路

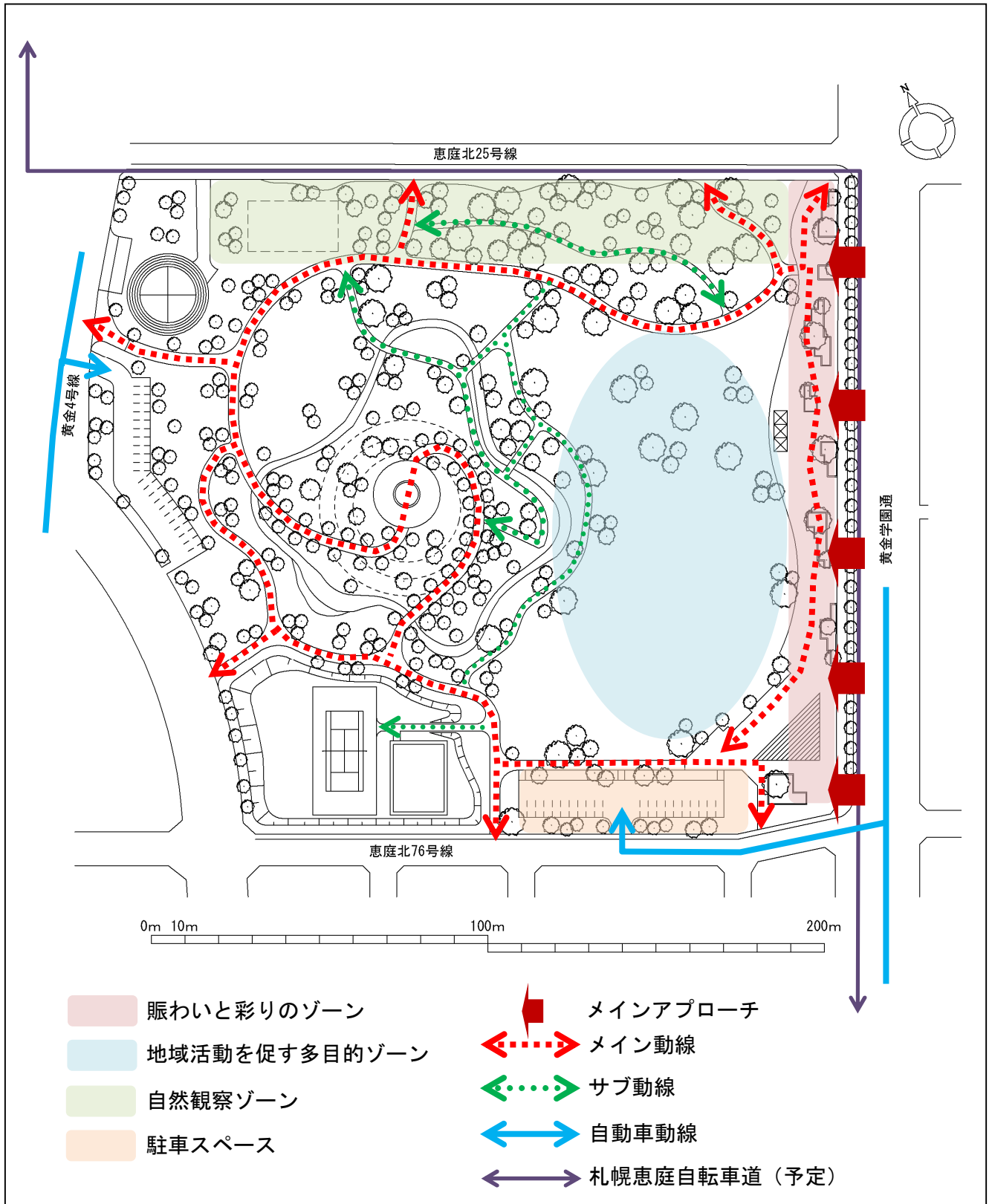
敷地北側のカシワ林群落については、適正な樹木密度と草刈などにより野草や日陰を好む草花を楽しめるゾーンとします。

#### ○ 回遊性のある動線設定

現況の施設と新たに整備される施設や空間が一体となって利用できるよう、回遊性を持たせた動線を確保します。また、園路際にはボーダー植栽などを取り入れることによって、公園全体を楽しめるものとします。

次頁にゾーニング・動線計画図を添付します。

図表 3-1 ゾーニング・動線計画図









### 3-4 施設計画及び利活用方法

#### 3-4-1 メインアプローチ広場

隣接する黄金学園通と一体となった広場として整備します。今まで素通りすることの多かった北海道文教大学学生の通学時の休憩やサークル活動の場、また近隣住民の散歩やウォーキング時の立寄り休憩など、幅広い潜在的ニーズに対応することで新たなコミュニティ形成を期待します。また、ユニバーサルデザインに対応した花壇等の整備と花育（注3）による植樹活動を進め、公園の顔となる賑わいや華やかさを演出します。

図表 3-2 メインアプローチ広場の施設計画及び利活用方法

項目	内容
施設計画	屋根付休憩施設、ベンチ、ブロック舗装 ユニバーサルデザインに対応した花壇
利活用方法	通勤・通学時の立寄り休憩、地域催し時の運営本部 花育による植樹体験



歩道と一体となった広場のイメージ



花育による植樹体験のイメージ

#### 注3 花育

花を教材に生命や個性について、子供などに考えてもらう活動を指し、「食育」、「木育」に続く、教育的な要素を盛り込んでいます。

## 3-4-2 木立と芝生の広場

地域町内会や商店街などの催しや、プレーパークやデイキャンプなどの自主活動など、様々な地域活動の場として利用できる芝生の広場を整備します。

混みあった既存樹木は、伐採しますが、巨木や大木などはランドマークとして残し、木陰のある広場とします。

図表 3-3 木立と芝生の広場の施設計画及び利活用方法

項目	内容
施設計画	ベンチ、照明灯
利活用方法	デイキャンプ、プレーパーク 町内会・商店街の各催し イグルー体験、健康増進活動（青空ヨガなど）



木立と芝生の広場のイメージ



イグルー体験のイメージ



プレーパークのイメージ



デイキャンプのイメージ



## 3-4-3 林床の植物を楽しむ散策路

既存のカシワ林を林床に光が差し込む程度整理し、野草やシェードガーデンを楽しめる散策路を整備します。また、緑のリサイクルの視点に立ち、一部分に堆肥場（バックヤード）を確保します。

図表 3-4 林床の植物を楽しむ散策路の施設計画及び利活用方法

項目	内容
施設計画	散策路、ベンチ、堆肥場（バックヤード）
利活用方法	野鳥・自然観察、散策、環境学習



林床の植物を楽しむ散策路のイメージ



自然観察のイメージ



植物を題材にした環境学習のイメージ

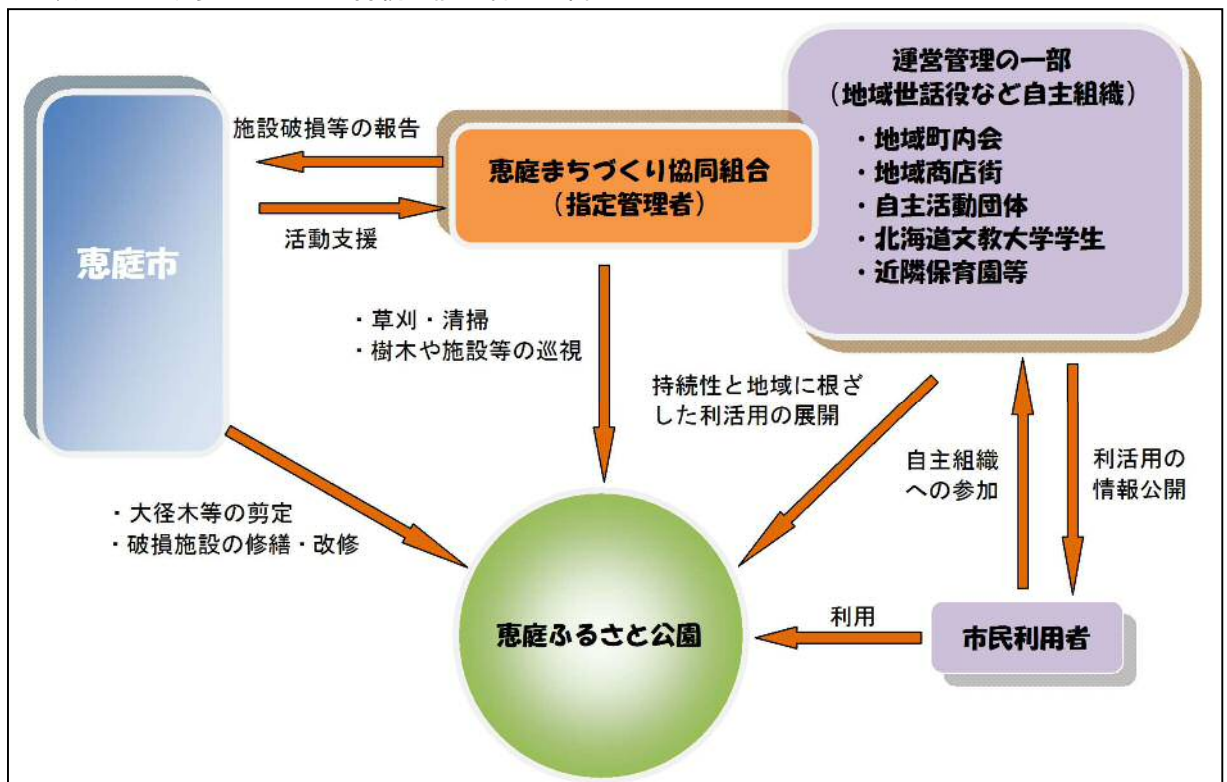
## 4 今後に向けた課題

### 4-1 管理運営計画

本公園の管理運営は、指定管理者（恵庭まちづくり協同組合）が行っています。現状においても指定管理者と本公園を活動拠点として自主活動を行っている団体とは、活発な情報交換が行われており利活用においても連携した活動プログラムを開催するなど一定の成果を挙げています。

今後は、平成30年度に予定するワークショップなどを通して、地域住民や活動団体が持続的に管理運営に携われる方策を検討するとともに、指定管理者と連携した組織づくりの取り組みを進めていきます。

図表 4-1 地域参加型による持続可能な管理運営イメージ

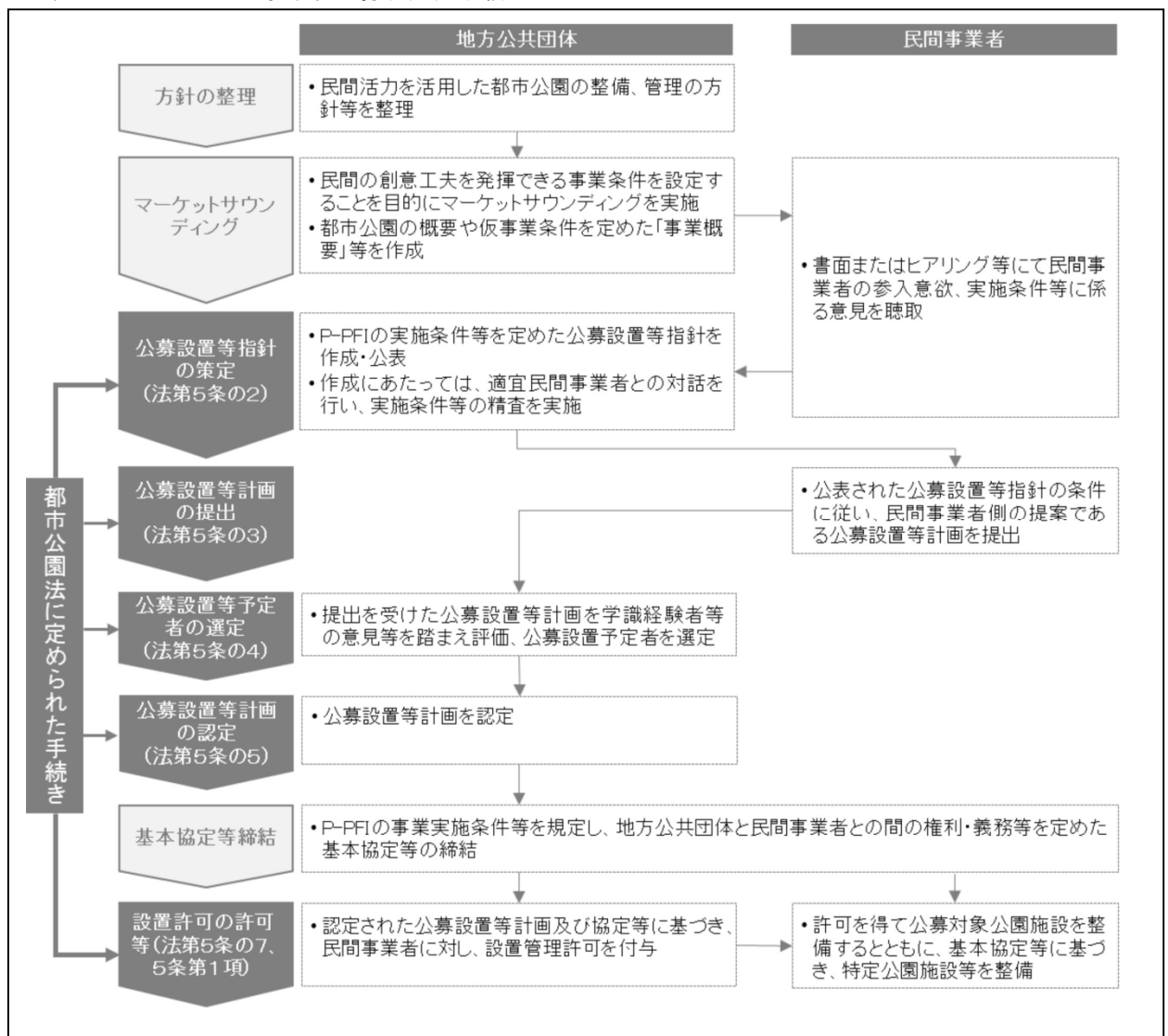


## 4-2 Park-PFI への取組み

本公園が、今後も継続的に魅力のある公園としてあり続けるために、Park-PFI 制度を導入し、飲食店舗などを含めた質の高いサービスを提供する「交流拠点施設」の設置、企業や地域住民によるイベントや催しの促進が望ましいと考えます。

今後は、民間事業者の参入に向けてマーケットサウンディングを進めるとともに、公園の魅力向上の可能性を検討します。

図表 4-2 Park-PFI の事業者公募、選定手続きのフロー









## 5 事業計画

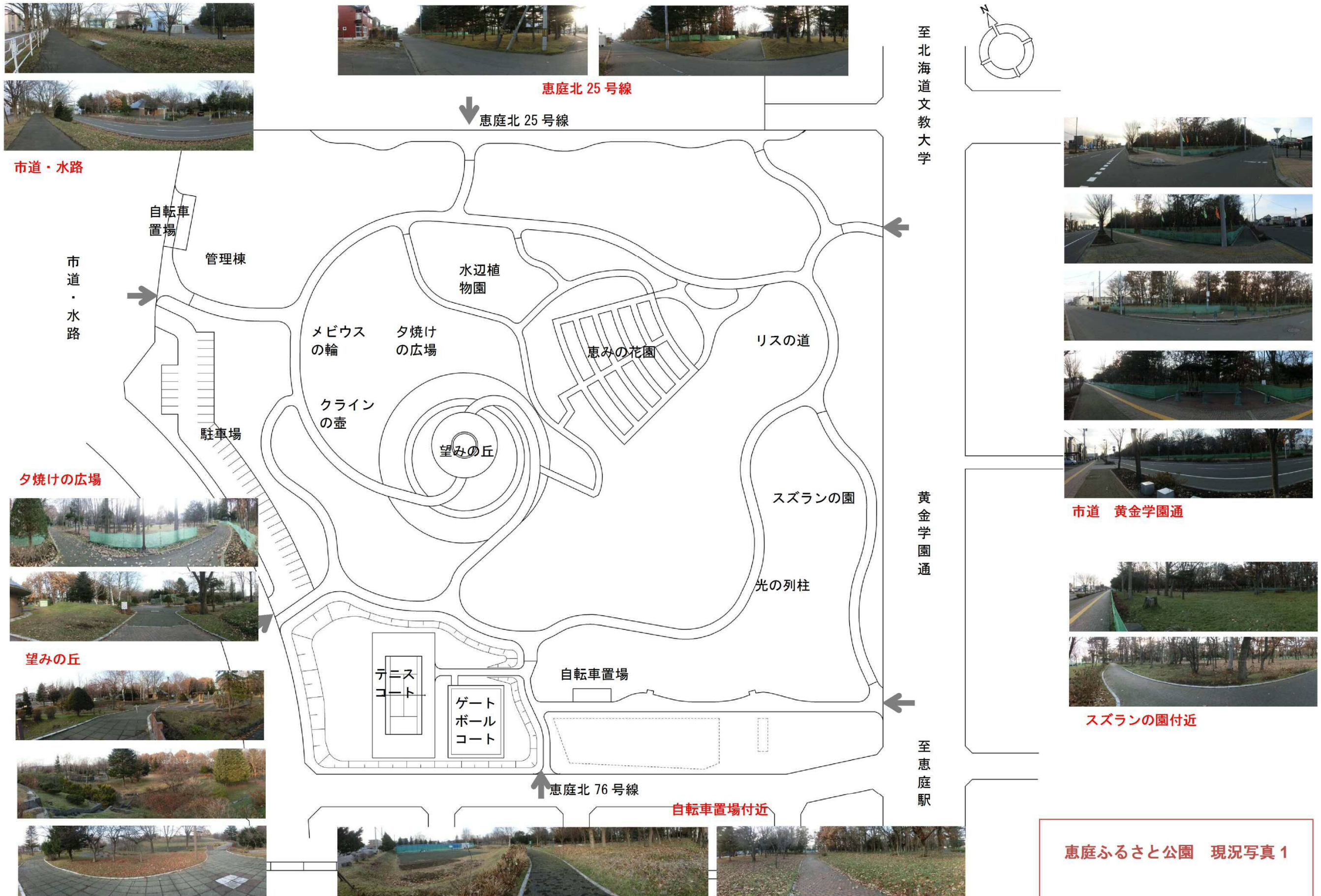
本平成 30 年度は実施設計及び現況測量調査を実施し、平成 31 年度に整備工事に着手し、平成 32 年度の供用開始を目標に進めます。

また、地域参加型による管理運営についても、ワークショップなどを通して、平成 30 年度より体制づくり（組織づくり）の構築に取り組んでいきます。公園の管理運営は、指定管理者（恵庭まちづくり協同組合）が行っています。

図表 5-1 事業計画表

項目 \ 年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
恵庭ふるさと公園	基本計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本方針の設定</li> <li>施設計画の設定</li> <li>基本計画図の作成</li> <li>ワークショップ（4回）開催</li> </ul>					
	現況測量 実施設計		<ul style="list-style-type: none"> <li>現況測量調査</li> <li>実施設計図作成</li> <li>工事費算出</li> <li>ワークショップ（2回）開催</li> </ul>				
	工事			 <ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備工事</li> </ul>			
	地域参加型による 管理運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>可能性と課題の抽出</li> <li>町内会による冬フェスの開催</li> </ul>	体制づくり（組織づくり） <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者と連携した地域活動団体の組織化準備期間</li> <li>様々な活動プログラムの実践と検証、課題と可能性の整理</li> </ul> 			体制づくり（組織づくり） <ul style="list-style-type: none"> <li>公募設置等予定者と連携した地域活動団体の組織化準備期間</li> <li>様々な活動プログラムの実践と検証、課題と可能性の整理</li> </ul> 	
	Park-PFI		<ul style="list-style-type: none"> <li>マーケットサウンディング</li> <li>公募設置等指針の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公募設置等予定者の選定</li> <li>基本協定等締結</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備工事</li> </ul>		

6 参考資料







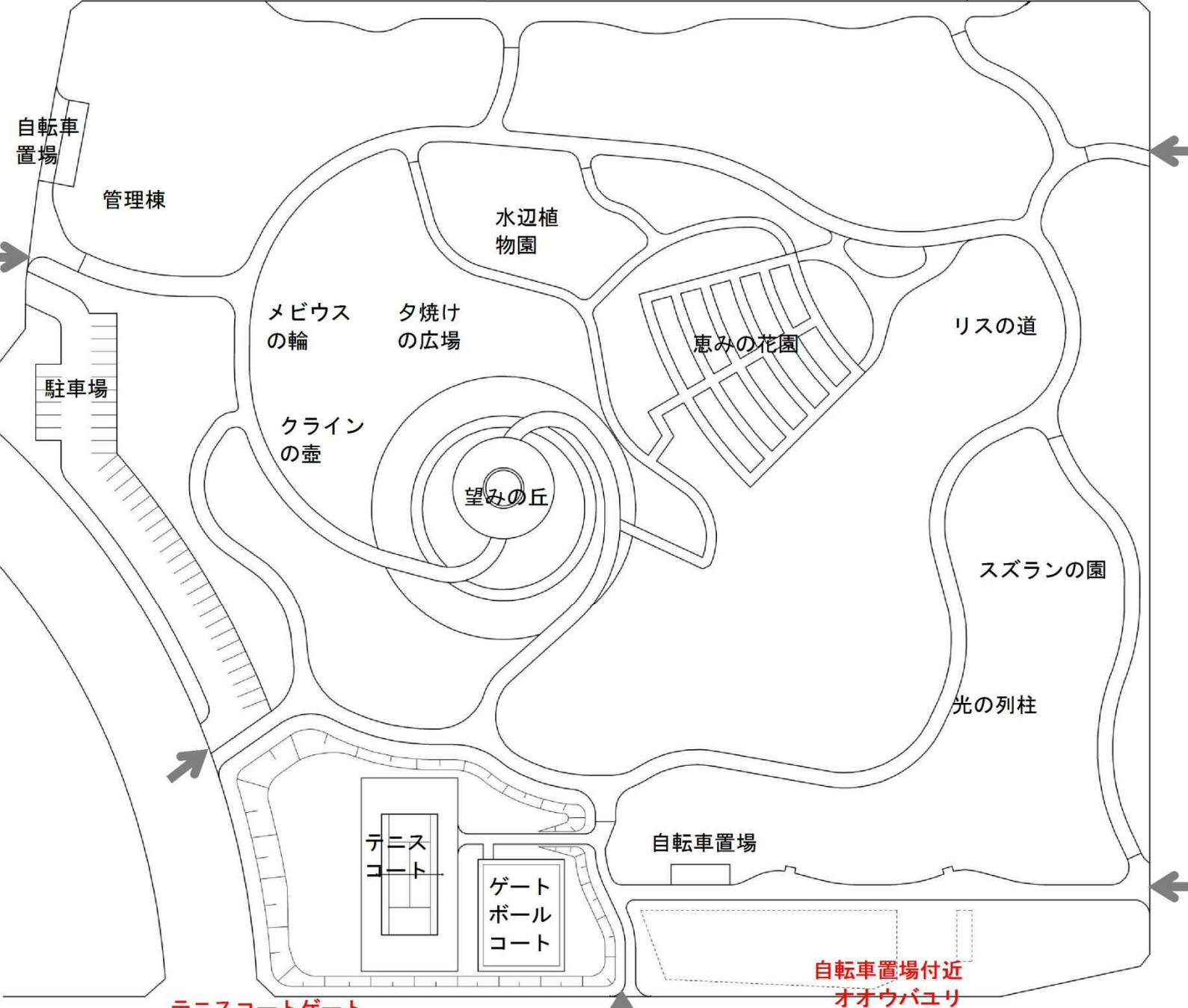
管理棟



望みの丘



夕焼けの広場付近



テニスコートゲート  
ボールコート

恵庭北 76 号線

自転車置場付近  
オオウバユリ  
枯木

0m 10

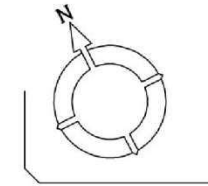


100m



200m

至北海道文教大学



リスの道付近



市道  
黄金学園通



黄金学園通

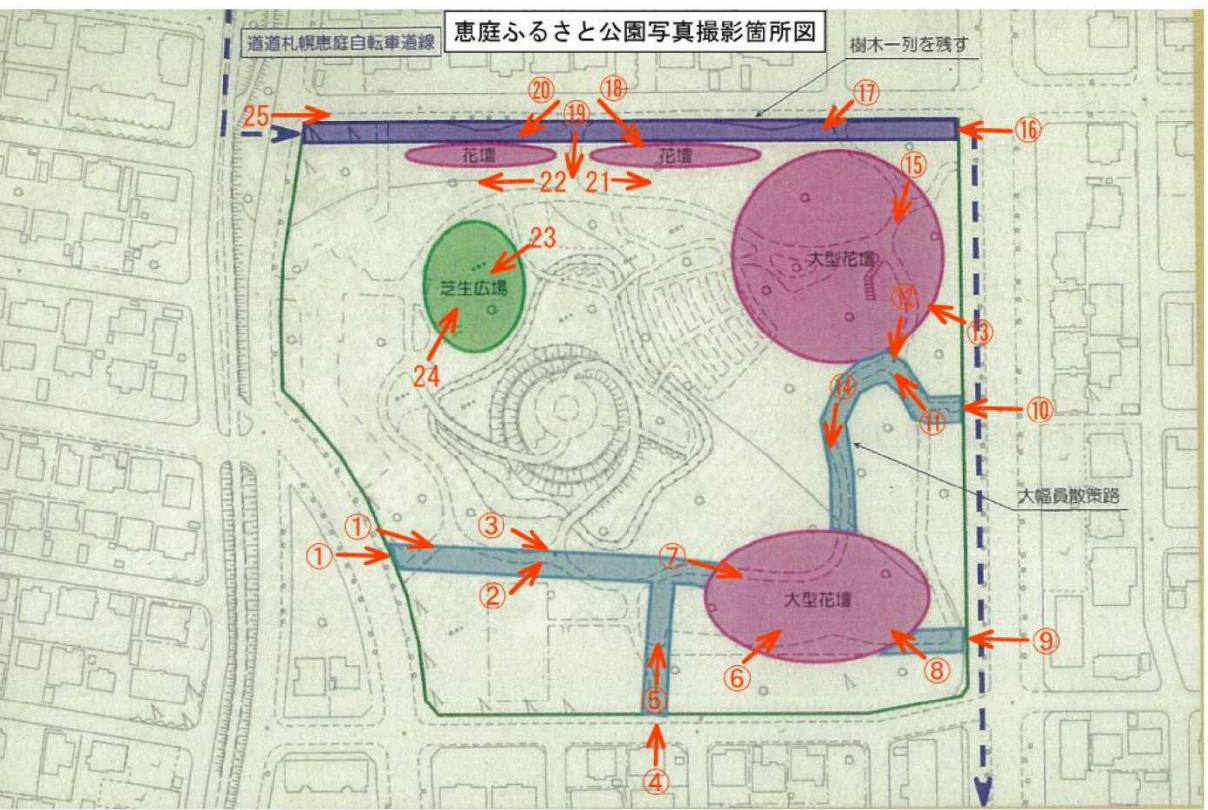
光の列柱付近



至恵庭駅

恵庭ふるさと公園 現況写真 2





恵庭ふるさと公園 現況写真3